corega

WLAP-54GT

取扱説明書

PART1
まず準備が必要 1

PART2
アクセスポイントの設定をする 2

PART3
トラブルや疑問があったら 3

PART4
設定ユーティリティーを見てみよう 4

付録 付録

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7368-00 Rev.A

安全にお使いいただくために　必ずお守りください

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

	感電の可能性が想定されることを示します。		発煙または発火の可能性が想定されることを示します。
	けがを負う可能性が想定されることを示します。		

障害や事故の発生を防止するための、その他の注意事項は次のマークで表しています。

	電源プラグを抜く 電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

⚠警告

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください（当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください）。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

添付の専用 AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、添付の専用 AC アダプターを使用してください。

専用 AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください）

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。
また設置の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

- 心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。
  電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

このたびは、「WLAP-54GT」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

「WLAP-54GT」に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。
無線LANに関する情報や活用例なども紹介しておりますので、ぜひ弊社のホームページをご覧ください。

コレガのホームページ　http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意!	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	WLAP-54GT を指します。
「 」－「 」－「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。

●イラスト、画面について

本文中に記載の画面やイラストは、実際と多少異なることがあります。

作業の流れ

本書では、本製品を使って無線LANのネットワークを構築するまでの作業をPARTに分けて説明しています。各PARTでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

PART1

まず準備が必要

① 添付品の確認
② 無線LANについて
本製品を使って構築できるネットワーク例や、無線LAN環境で必要なセキュリティー対策についてご確認ください。
③ 本製品の特長、各部の名称と役割の確認

PART2

アクセスポイントの設定をする

① 設定用パソコンを準備しよう
本製品と無線で接続するパソコンや、本製品の設定を行うときに必要なパソコンを準備してください。
② 本製品を接続して起動しよう
パソコンと本製品を無線で接続して起動します。
③ 本製品の設定をするときは
本製品の設定を行いたいときは、設定ユーティリティーを使って行います。

PART2までの作業が終われば、本製品を使った無線LANでのネットワーク構築は完了です。
PART3以降は、必要に応じて読んでください。

PART3

トラブルや疑問があったら

PART2までの作業で、無線LANへの接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、このPARTを読んで解決方法を探してください。

PART4

設定ユーティリティーを見てみよう

本製品は、内蔵の設定ユーティリティーによって、詳細な設定ができます。このPARTでは、設定ユーティリティーで設定できる項目について説明しています。

付　録

付録

製品仕様、保証と修理に関する説明があります。また、弊社へのお問い合わせの際には、この中にある「お問い合わせ用紙」をご利用ください。

目次

安全にお使いいただくために 必ずお守りください …… 表紙裏
ご使用にあたってのお願い …… 2
お手入れについて …… 2
電波に関する注意 …… 3
はじめに …… 4
本書の読み方 …… 4
作業の流れ …… 5

PART1 まず準備が必要 …… 8

添付品の内容を確認しよう …… 8
無線 LAN について …… 9
　アクセスポイントを使ったネットワーク構築例 …… 9
　相互接続性 …… 9
　無線LANのセキュリティー対策について …… 10
製品の特長をとらえよう …… 10
各部の名称と機能を覚えよう …… 11
　本体上面 …… 11
　本体背面 …… 12
　本体底面 …… 13

PART2 アクセスポイントの設定をする …… 14

設定用パソコンを準備しよう …… 14
　設定用パソコンの構成 …… 14
　設定用パソコンのTCP/IPの設定を確認する …… 14
本製品を接続して起動しよう …… 15
　本製品を設置する場所について …… 15
　縦置きスタンドの取り付け方 …… 15
　本製品の電源を入れるには …… 16
　本製品にルーターやハブなどを接続する …… 17
　パソコンと本製品を無線で接続する …… 18
本製品の設定をしよう …… 20
　設定ページを開く …… 20
　基本的な設定をする(ESSIDの変更) …… 21
無線 LAN に接続できたら …… 23

PART3 トラブルや疑問があったら …… 24

解決のステップ …… 24

マニュアルや契約書を再確認する。管理者に確認する …… 25
Q&A …… 25
本製品の設定ページが表示されない …… 25
無線LANアダプターを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない …… 27
本製品のパスワードを忘れた …… 28
ファームウェアの更新に失敗した …… 28
パソコンのネットワーク設定を調べたい …… 28
本製品のパスワードを変更したい …… 30
最新のファームウェアを入手して更新したい …… 31
本製品を再起動したい …… 31
本製品を工場出荷時の状態に戻したい …… 32
コレガのホームページの情報を活用する …… 33
それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる …… 34
corega Net-News を購読する …… 34

PART4 設定ユーティリティーを見てみよう …… 35

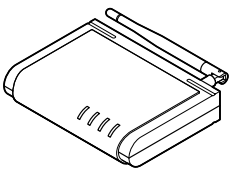
Web ブラウザーで設定しよう …… 35
設定ページを開く …… 35
Web ブラウザーでの設定項目について …… 37
AP情報 …… 38
端末情報 …… 39
基本設定 …… 39
フィルタリング設定 …… 41
高度な設定 …… 42
セキュリティ …… 44
IPアドレス …… 46
管理者設定 …… 48

付録 …… 49

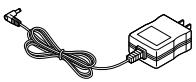
製品仕様 …… 49
工場出荷時の設定 …… 50
MAC アドレスについて …… 50
保証と修理について …… 50
保証について …… 50
修理について …… 50
ユーザーサポートについて …… 51
おことわり …… 51
「お問い合わせ用紙」の記入方法 …… 52
お問い合わせ用紙 …… 54

添付品の内容を確認しよう

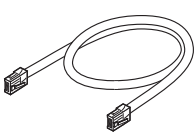
本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



□ corega WLAP-54GT 本体



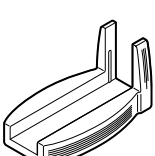
□専用 AC アダプター



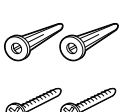
□ LAN ケーブル 1.8m（1 本）

□取扱説明書（本書）

□製品保証書



□縦置きスタンド



□壁掛けキット

□電波注意ラベル

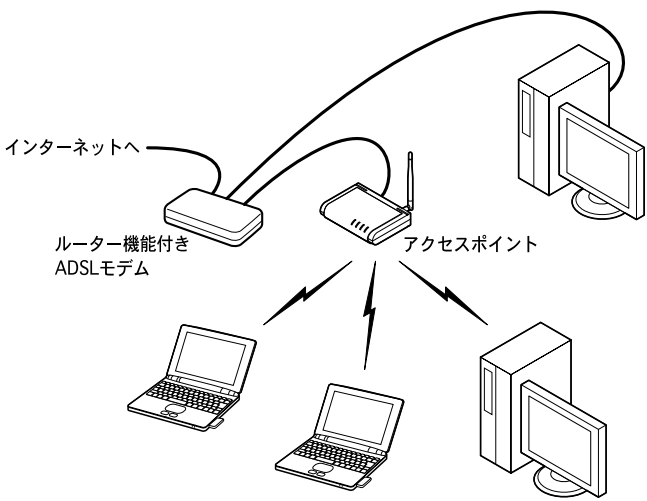
無線 LAN について

本製品は、IEEE802.11g（draft）、IEEE802.11b 規格に対応したワイヤレス（無線LAN ）通信のアクセスポイントです。IEEE802.11g または IEEE802.11b 規格に対応した無線 LAN アダプターと組み合わせることで、下図のような無線 LAN 環境と有線 LAN 環境を統合したネットワークを構築することができます。

メモ　無線LAN の通信モードには、「インフラストラクチャーモード（Infrastructure mode ）」と「アドホックモード（AdHoc mode ）」の２種類がありますが、下図のように本製品と組み合わせてネットワークを構築する場合には、「インフラストラクチャーモード」でネットワークを構築します。

注意!　本製品は、アドホックモードでのネットワーク構築にはお使いになれません。

■アクセスポイントを使ったネットワーク構築例



■相互接続性

・本製品は、IEEE802.11g（draft）、IEEE802.11b という無線 LAN の規格に対応しており、同じ規格に対応した他の無線 LAN 機器と相互に通信が可能です。IEEE802.11a 規格の無線 LAN 機器とは相互接続できません。
・本製品は、各社の無線 LAN 機器との間で相互接続性を確保していますが、個別製品の接続可否については、お使いの機器の製造･販売元にお問い合わせください。また、コレガのホームページでは、本製品との接続が確認された動作検証表を公開していますので、あわせてご覧ください。

メモ　一部機能が制限されたり、接続できない場合があります。

■無線LANのセキュリティー対策について

無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないように、次のようなセキュリティー対策を行うことをおすすめします。設定方法など詳しくは、「PART2 アクセスポイントの設定をする」「本製品の設定をしよう」(P.20)、または「PART4 設定ユーティリティーを見てみよう」「Webブラウザーでの設定項目について」(P.37)を参照してください。

- **通信相手を識別、限定する**
  - ESSIDの設定を変更する
  - フィルタリング設定をする
- **通信内容を暗号化する**
  - WEP（暗号キー）を設定する

メモ　本製品の工場出荷時の設定は、右表のとおりです。

項目	出荷時設定
ESSID	corega
フィルタリング設定	なし
WEP設定（暗号化）	OFF

製品の特長をとらえよう

本製品には、次のような機能があります。

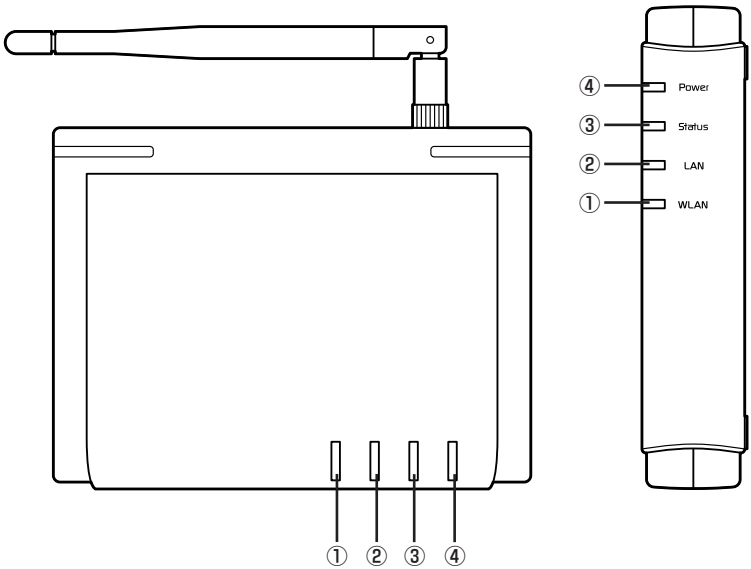
- **IEEE802.11g規格を使った、54Mbps対応の高速無線LAN**
  IEEE802.11gは、現在普及の11MbpsのIEEE802.11b規格と同じ2.4GHz帯の周波数を使用し、最大54Mbpsの通信が可能な高速無線方式です。

メモ　IEEE802.11g規格は現在ドラフトです。本製品はIEEE802.11g規格の正式承認後にIEEE802.11g規格に対応予定です。

- **IEEE802.11b互換**
  IEEE802.11g対応の製品は、IEEE802.11bとの高い互換性を維持しているので、IEEE802.11b対応の機器とも接続可能。
- **64/128bit WEP対応**
  WEPに対応しており、セキュリティーも安心
- **設定ユーティリティー添付**
  内蔵の設定ユーティリティーを使って簡単に設定可能。
- **Wi-Fi認定による相互接続性を確保**
- **無線アンテナ搭載により受信感度がアップ**
- **縦置き可能なスタンド付属**

各部の名称と機能を覚えよう

■本体上面



① WLAN LED（緑）

本製品が無線通信をしているときに、緑色に点灯します。

② LAN LED（緑）

本体背面のLANポートの状態が表示されます。
- 点灯：接続先の機器とリンクが確立されている状態です。
- 点滅：接続先の機器とデータ通信中です。
- 消灯：接続先の機器とリンクが確立されていない状態です。

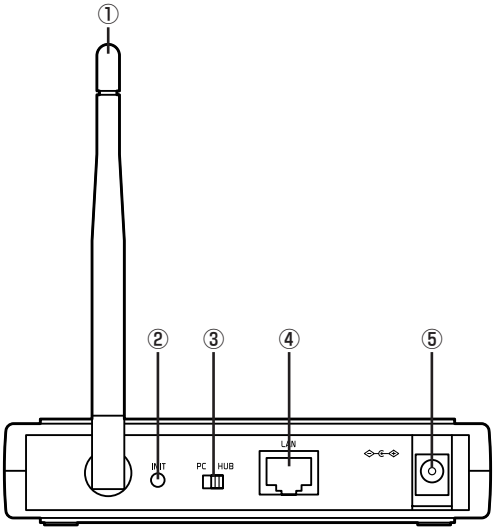
③ Status LED（緑）

本製品の動作状態が表示されます。
- 点灯：本製品が正常に動作している場合
- 消灯：本製品が正常に動作していない場合

④ Power LED（緑）

本製品の電源が入っているときに、緑色に点灯します。

■本体背面



①アンテナ

電波の送受信部です。無線接続する場合は、立ててください。

② Init スイッチ

本製品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.32) を参照してください。Init スイッチを使用して工場出荷時の状態に戻すと設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

③クロス切替スイッチ

本製品をルーターやハブに接続する場合は「HUB」に、パソコンに接続する場合は「PC」に切り替えてください。

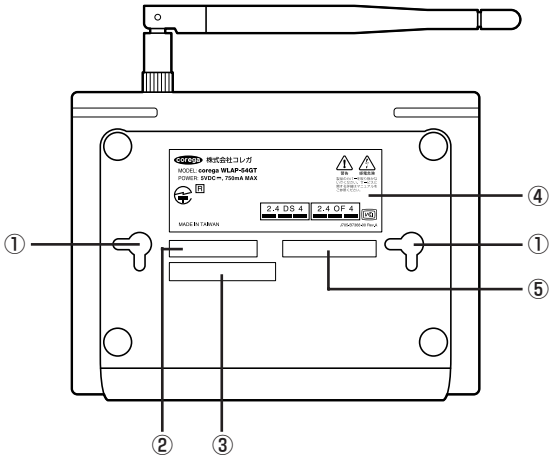
④ LAN ポート

ルーターやハブを接続するためのポートです。100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

⑤ DC ジャック

添付の専用AC アダプターを接続するためのコネクターです。

■本体底面



①壁掛け用穴

添付の壁掛けキットを使って、本製品を壁に掛けて使うときに使用します。

②MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記載されています。

③シリアル番号シール

本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

④警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。

⑤ファームウェアラベル

本製品をご購入時のファームウェアバージョンが記載されています。

メモ　上の図で 2.4 DS 4 2.4 OF 4 は次の内容を意味しています。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
伝送方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

設定用パソコンを準備しよう

無線LANを使って本製品と接続する機器のうち、1台のパソコンを本製品の設定用パソコンとして準備してください。

■設定用パソコンの構成

本製品の設定を行うためには、次の条件を満たすパソコンが必要です。

- IEEE802.11g、IEEE802.11b、IEEE801.11 のいずれかに準拠した無線 LAN アダプターが装備されている
- TCP/IP が組み込まれている
- Microsoft Internet Explorer 4.0、またはNetscape Navigator 4.78以上がインストールされている

メモ　無線LANアダプターの取り付け方法や設定方法についての詳細は、無線LANアダプターに付属の取扱説明書を参照してください。

■設定用パソコンの TCP/IP の設定を確認する

本製品の設定を行う場合は、設定用パソコンのTCP/IP設定が以下のように設定されていることを確認してください。

IPアドレス　：192.168.1.1 ～ 192.168.1.254の範囲のIPアドレス
（ただし、192.168.1.230 を除く）
サブネットマスク：255.255.255.0

メモ　パソコンのIPアドレスの調べ方がわからない場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「パソコンのネットワーク設定を調べたい」（P.28）を参照してください。

注意!
- すでに「192.168.1.XXX」以外のネットワークが構築されている場合、本製品の設定を行うためには、本製品と設定用パソコンで「192.168.1.XXX」のIPアドレスを持つ最小限のネットワークを構築する必要があります。設定用パソコンのIPアドレスを上記のように変更してください。なお、本製品の設定を行わないパソコンについては、IPアドレスを変更する必要はありません（本製品のIPアドレスと既存のネットワークとが異なっていても、無線 LAN への接続は可能です）。
- 本製品の工場出荷時のIPアドレスは、192.168.1.230です。これと同じIPアドレスを持つ機器が存在する場合は、本製品の設定が完了するまで該当する機器の電源を切っておくか、LAN から切り離しておいてください。
- 本書では、設定用パソコンのIPアドレスを以下に設定したものとして説明しています。設定の際には実際の値に読み替えてください。

IPアドレス　：192.168.1.11
サブネットマスク：255.255.255.0

メモ　TCP/IPの組み込み方法や設定方法についての詳細は、無線LANアダプターに付属の取扱説明書、または各 OS の説明書を参照してください。

本製品を接続して起動しよう

■本製品を設置する場所について

本書冒頭の「安全にお使いいただくために」をお読みになり、使用時の注意についてご確認ください。本製品を安定させて設置する場所が見つからない場合は、添付の縦置きスタンドを使用して、本製品を立てて設置できます。

●設置に適した場所

・水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
・風通しのよい涼しい場所

●設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿でホコリの多い場所
・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

■縦置きスタンドの取り付け方

本製品を縦置きで使用する場合は、添付の縦置きスタンドをご利用ください。
下図のように本製品の溝と縦置きスタンドを合わせて固定してください。

■本製品の電源を入れるには

●本製品の電源の取り方

本製品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプターを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本製品の電源の入れ方 / 切り方

本製品背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

注意!
- 本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■本製品にルーターやハブなどを接続する

(メモ) 企業内で使用する場合は、本製品との間にルーターやレイヤー３スイッチなどを挟んでいない個所に、設定用パソコンを接続してください。一般のご家庭など、ルーターが存在しないか、もしくはインターネット接続のためのルーターだけが存在する環境では、考慮する必要はありません。

1 本製品、ルーター、ハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

2 本製品背面のLAN ポートに添付のLANケーブルを接続します。

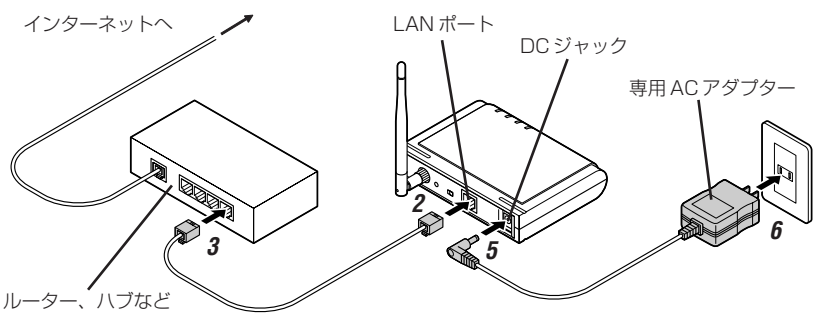
3 ルーター、ハブのLANポートにLANケーブルのもう一方を接続します。

4 ルーター、ハブの電源を入れます。

5 本製品背面のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。

6 本製品のACアダプターをコンセントに接続します。
本製品の電源が入り、本製品上面のPower LEDとLAN LEDが点灯します。

(メモ) LAN LED が点灯しない場合は、クロス切替スイッチを切り替えた後、数秒待って LAN LED が点灯することを確認してください。



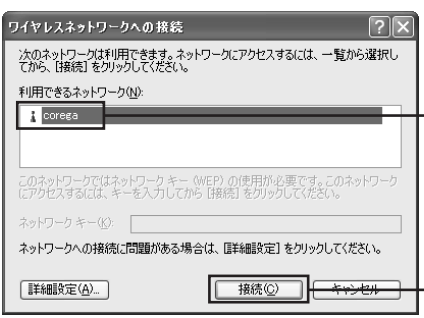
■パソコンと本製品を無線で接続する

パソコンの電源を入れて、パソコンに取り付けた無線LANアダプターの設定を以下のように変更し、本製品とのワイヤレス接続を開始します。なお、設定方法は、お使いのOSのバージョンや無線LANアダプターによって異なります。

項目名	設定値	説明
通信モード	インフラストラクチャー（Infrastructure）モード	無線LANには、通信モードが２つあります。本製品で無線LANに接続するときには、「インフラストラクチャー（Infrastructure）」モードにします。
ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。
チャンネル	6	使用する電波の周波数（無線チャンネル）です。
WEP（暗号化）	OFF	通信データを暗号化するための暗号キーです。

●無線LANの設定のしかた（Windows XPの場合）

Windows XPでは、多くの場合、本製品からの電波が受信できるようになった時点で自動的にESSIDが検索され、必要な設定が行われるので、「ワイヤレスネットワークへの接続」画面で「corega」を選択して「接続」をクリックするだけで、本製品と接続できます。ただし、お使いになる無線LANアダプターによっては、設定用ソフトウェアなどによる設定が必要な場合もあります。詳しくは、無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。



①現在接続可能な相手（ESSID）が表示されるので、「corega」を選んでクリックします。

②クリックして接続を開始します。

●無線LANの設定のしかた（Windows Me/98/95/2000/XPの場合）

下図は、コレガ製無線LANアダプター「WLCB-54GT」での設定画面の例です。
お使いの無線LANアダプターによって、設定方法は異なります。無線LANアダプターの取扱説明書を参照して設定してください。

メモ　Windows XPでは、OSの標準機能を使用する場合と、無線LANアダプターのユーティリティーを使用する場合の2つの方法があります。ご使用の無線LANアダプターの取扱説明書をご確認ください。

①ESSID欄に「corega」と入力します。

②チャンネルが「6」になっていることを確認します。

③クリックします。

④クリックして接続を開始します。

本製品の設定をしよう

本製品と設定用パソコンを無線で接続した後は、下記の手順で設定ユーティリティーを起動してみてください。正しく接続できている場合は、設定ユーティリティーが表示されます。
本製品の設定はWebブラウザーで行います。Webブラウザーには Internet Explorer 4.0 以降、または Netscape Communicator 4.78 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザーでは、正常に設定が行えません。

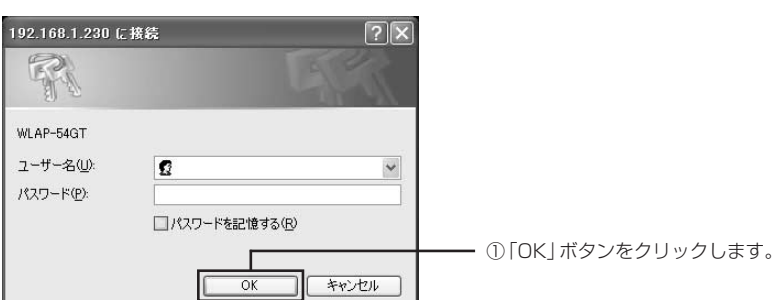
■設定ページを開く

注意! ・設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。
・Webブラウザーでの設定時には、設定ページを素早く切り替えないでください。素早いクリックによるページの切り替えは、誤動作の原因となります。十分な時間間隔を置いてマウスをクリックし、設定操作を行ってください。
万が一、本製品にアクセスできなくなった場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品の設定ページが表示されない」（P.25）を参照してください。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2 Webブラウザーのアドレス入力欄に「http://192.168.1.230」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



※上の画面はWindows XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。

メモ ・工場出荷時の状態では、ユーザー名とパスワードは設定されていません。
・ユーザー名、パスワードは変更できます。
・パスワードの変更方法は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品のパスワードを変更したい」（P.30）を参照してください。

4 設定ユーティリティーが起動します。

注意! Webブラウザーに、「オフライン」「プロキシサーバー」などの設定を行っている場合、本製品の設定ユーティリティーが表示されないことがあります。その場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品の設定ページが表示されない」（P.25）を参照してください。

●うまく接続できない場合は

ここまでの設定でうまく接続ができない場合は、次の点を確認してください。

・TCP/IPは正しく設定されているか？
・ESSIDや通信モードは正しく設定されているか？
・本製品と、通信相手となるパソコンは、通信可能な距離に設置されているか？

詳しくは、「STEP3 トラブルや疑問があったら」（P.24）を参照してください。また、お使いの無線LANアダプターの取扱説明書も参照してください。

■基本的な設定をする（ESSIDの変更）

設定ユーティリティーが表示された場合は、設定用パソコンと本製品が無線で正しく接続できています。このまま本製品の設定を変更しなくてもお使いになれますが、無線LANでの安全なネットワーク構築のためにもセキュリティー設定を行うことをおすすめします。ここでは、セキュリティー設定の一つとして、ESSIDの変更方法について説明します。

メモ ESSID以外のセキュリティー設定も必要に応じて行うようにしてください。

●ESSID（Extended Service Set IDentifier）とは

無線LANに接続する機器を識別する名前です。SSIDと呼ばれることもあります。同じESSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、第三者から想像されにくいESSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。また、ESSIDを設定していないと無線LANでネットワーク接続することができません。本製品の工場出荷時は「corega」に設定されています。

● ESSIDを変更する

本製品の設定ユーティリティーを使って、ESSIDを変更します。新たに設定したESSIDは、無線LANに接続するすべてのパソコン（無線LANアダプター）にも設定する必要があります。設定した内容を忘れないように、作業を始める前に、下の記入欄に新しいESSIDを正確にメモしておくことをおすすめします。

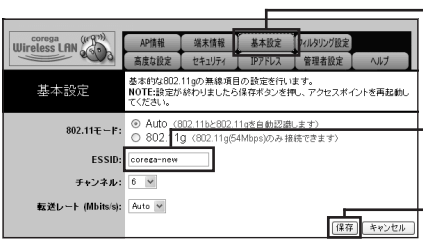
新しいESSID　：

メモ
- ESSIDは、最大32文字までの、半角英数文字および半角記号の組み合わせで作成します（大文字と小文字の区別はありません）。
- 使用できる半角記号は、次のとおりです。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ { ¦ } ~

1 「設定ページを開く」(P.20)の手順で設定ユーティリティーを起動します。

2 「基本設定」をクリックし、「ESSID」の入力欄に新しいESSIDを入力して、「保存」ボタンをクリックします。

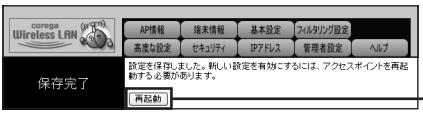


①「基本設定」をクリックします。

②新しいESSIDを入力します。
※ここでは「corega-new」としています。

③「保存」ボタンをクリックします。

3 「再起動」ボタンをクリックします。



「再起動」ボタンをクリックします。

4 「本当によろしいですか？」と表示されたら「OK」ボタンをクリックします。
「設定を完了しました。3秒後にアクセスポイントを再起動します」と表示され、本製品が再起動します。再起動するまでしばらくお待ちください。
これで本製品のESSIDが変更されました。

注意! 本製品のESSIDを変更すると、設定に使用したパソコンを含めて、一時的に、無線接続しているすべてのパソコンからネットワークへの接続ができなくなります。ネットワークに接続するためには、無線接続しているすべてのパソコン（無線LANアダプター）に同じESSIDを設定してください。

5 本製品と接続するすべてのパソコン(無線LANアダプター)のESSIDを、本製品に設定したESSIDに変更します。

(メモ) パソコン(無線LANアダプター)のESSIDの設定方法については、「本製品を接続して起動しよう」「パソコンと本製品を無線で接続する」(P.18)や無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

ESSIDを変更した後、ネットワークに接続できることを確認してください。うまく接続できない場合は、ESSIDの入力を間違えていないか、または正しく設定されているかを確認してください。

無線LANに接続できたら

接続および設定が終わったら、目的に応じて進んでください。

- **インターネットなどに接続できるか確認する**
  本製品のLANポートに接続したルーターやハブを経由して、インターネットなどに接続できる環境の場合は、無線LANに接続しているパソコンからインターネットに接続できるかを確認してください。
  本製品とパソコンが正しく無線で接続されているにもかかわらず、うまくインターネットに接続できない場合は、本製品に接続している各機器の取扱説明書を参照してください。

- **設定用パソコン以外に接続したい機器を接続する**
  設定用パソコンとして接続したパソコン以外にも、無線LANに接続したいパソコンなどがある場合は、「本製品を接続して起動しよう」「パソコンと本製品を無線で接続する」(P.18)や無線LANアダプターの取扱説明書を参照して、パソコン(無線LANアダプター)の設定をしてください。本製品の設定は必要ありません。

- **セキュリティーの設定を強化する**
  無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、外部から通信を傍受されたり、ネットワークへ不正侵入されたりする恐れがあります。本製品には無線LANを安心してご利用いただくために、ESSIDのほかにも、「WEP」「MACアドレスフィルタリング」「パスワード」などのセキュリティー設定ができます。設定の詳細については、「PART4 設定ユーティリティーを見てみよう」「Webブラウザーでの設定項目について」(P.37)を参照してください。

PART3 トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、この章で解決方法を探してください。

解決のステップ

①マニュアルを確認する。管理者に確認する

↓

②この章の Q&A を確認する
＜トラブルは？＞
本製品の設定ページが表示されない
無線 LAN アダプターを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない
本製品のパスワードを忘れた
ファームウェアの更新に失敗した
パソコンのネットワーク設定を調べたい
本製品のパスワードを変更したい
最新のファームウェアを入手して更新したい
本製品を再起動したい
本製品を工場出荷時の状態に戻したい

↓

③コレガのホームページの情報を活用する

↓

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

マニュアルや契約書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にも無線LANアダプターのマニュアル、パソコンに添付のマニュアルをお手元にご用意ください。また、ルーターやモデムなどの他のネットワーク機器のマニュアルもご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q&A

■本製品の設定ページが表示されない

● 設定用パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

「PART2 アクセスポイントの設定をする」「設定用パソコンのTCP/IPの設定を確認する」(P.14)を参照して、パソコンにTCP/IPがインストールされているか、IPアドレスなどTCP/IPの設定が正しくできているか、確認してください。

● パソコンに無線LANアダプターのドライバーや設定用ソフトウェアが正しくインストールされていますか？

無線 LAN アダプターに添付のマニュアルを参照して、ドライバーや設定用ソフトウェアが正しくインストールされているか、確認してください。

● 本製品の IP アドレスの設定は正しくできていますか？

本製品のIP アドレスのネットワークアドレス部とサブネットマスクを、設定用パソコンと一致させてください。本製品のIPアドレスの設定方法については、「PART4 設定ユーティリティーを見てみよう」「IPアドレス」(P.46) を参照してください。

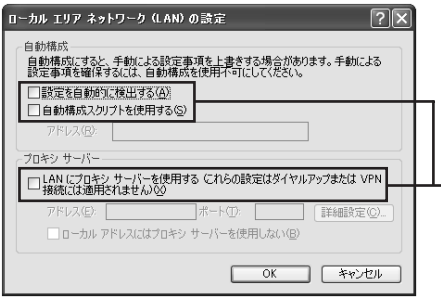
● プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

Webブラウザーでプロキシサーバーを使う設定になっていると、本製品の設定ページが表示されません。次の手順で、Web ブラウザーでプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

メモ　ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法を説明しています。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」−「インターネットオプション」をクリックします。
2. 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。
3. 「LANの設定」ボタンをクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。



この項目のチェックマークを外します。

5 「OK」ボタンをクリックします。

6 「インターネットオプション」画面で「OK」ボタンをクリックします。

● Web ブラウザーが「オフライン作業」になっていませんか？

Webブラウザーを起動した際に、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われていないため、本製品を正常に設定することができません。
メニューから「ファイル」－「オフライン作業」を選択し、チェックを外してください。

ここのチェックを外します。

● どうしても無線で設定できないときは？

有線で接続できるパソコンがあれば、パソコンのLANポートと本製品のLANポートを添付のLANケーブルで接続して設定してください。
パソコンのTCP/IPの設定やWebブラウザーの設定は、無線で接続する場合と同じです。

注意! 本製品のLANポートにパソコンを接続する場合は、本製品背面のクロス切替スイッチを「PC」側にしてください。

有線で接続できるパソコンがないときは、本製品背面のInitスイッチを使用して、工場出荷時の状態に戻してください。詳しくは、このPARTの「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.32)を参照してください。

■無線LANアダプターを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない

●無線を利用した家電を使用していませんか？

2.4GHzの無線を使用した家電（液晶テレビやオーディオ機器など）は無線LANで使用される周波数に近いので、無線 LAN に影響を与えることがあります。

● 電波状態は問題ないですか？

本製品の使用環境によっては、「通信できない」、「通信速度が遅い」などの問題が発生します。下記の表を参考にして使用環境を調査し、環境に問題がある場合には、本製品の設置場所を変更する、障害物を取り除く、無線 LAN 製品間の距離を短くするなどの対策を試してください。

	物質の種類	使用環境例
電波を通す物質	木材、ガラス	木の仕切り、ドア、木造2階建ての1階と2階、ガラス窓、
電波を通さない物質	石、レンガ、セメント、コンクリート、鉄	石の壁、レンガの壁、セメントの床や壁、コンクリートの床や壁、鉄の仕切り、ドア、ユニットバス、鉄筋2階建ての1階と2階、防火ガラス

● 無線 LAN アダプターと本製品の無線設定はあっていますか？

「PART2 アクセスポイントの設定をする」「パソコンと本製品を無線で接続する」（P.18）や無線 LAN アダプターのマニュアルを参照して、次の設定を確認、再設定してください。

- 通信モードが「Infrastructure」になっているか
- ESSID に本製品と同じ文字列が設定されているか
- WEP が設定されていないか
  無線 LAN アダプター側に WEP が設定されている場合は、無線 LAN アダプター側の設定を解除するか、本製品にも同じ WEP を設定してください。
- チャンネルの設定はあっているか

● パソコンのパワーマネジメント機能、サスペンド機能が動作していませんか？

パソコンのパワーマネージメント機能、サスペンド / レジューム機能の設定を解除してください。設定方法についてはパソコンに添付のマニュアルを参照してください。

● 本製品の LAN ポートに接続した機器は正しく動作していますか？

本製品上面の LAN LED や接続先機器の LINK LED が点灯しているか、確認してください。点灯していない場合は、本製品のLANポートに接続した機器が正しく動作していません。次の点を確認してください。

- 接続先の機器（パソコンやハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- LAN ケーブルが正しく接続されているか
- 本製品のクロス切替スイッチの設定は正しいか
  本製品をハブやルーターに接続する場合は「HUB」に、パソコンに接続する場合は「PC」に切り替えてください。
- LAN ポートに接続した機器の設定は正しいか

■本製品のパスワードを忘れた

本製品を工場出荷時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.32）を参照してください。パスワードを設定したい場合は、このPARTの「本製品のパスワードを変更したい」（P.30）を参照して、再設定してください。

注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので再度設定しなおしてください。

■ファームウェアの更新に失敗した

本製品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアの更新を行ってください。
本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.32）を参照してください。

注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。なお、設定ユーティリティーの「セキュリティ」画面で「アップデートを許可する」にチェックが付いていないとファームウェアの更新ができません。「アップデートを許可する」にチェックを付けてください。詳しくは、「PART4 設定ユーティリティーを見てみよう」「セキュリティ」（P.44）を参照してください。

■パソコンのネットワーク設定を調べたい

パソコンに設定されているIPアドレスやサブネットマスク、無線LANアダプターのMACアドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。

＜Windows Me/98/95の場合＞

1 「スタート」ボタン−「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。

3 パソコンで使用している無線LANアダプターを選択します。
パソコンのネットワーク設定が表示されます。

メモ ご使用の無線LANアダプターが表示されない場合は、パソコンや無線LANアダプターのメーカーなどにお問い合わせください。

正しく表示されない場合は、「解放」ボタンをクリックした後、「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。

3

< Windows XP/2000 の場合>

1 「スタート」ボタン−「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)−「アクセサリ」−「コマンドプロンプト」をクリックします。

2 キーボードから「ipconfig /all」と入力して、「Enter」キーを押します。

※画面例
「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、パソコンの使用環境によって表示が異なります。

3 パソコンのネットワーク設定が表示されるので確認します。

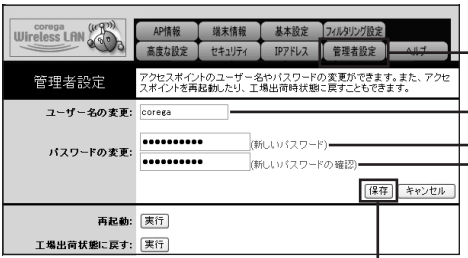
正しく表示されない場合は、「ipconfig /renew」と入力して、「Enter」キーを押します。

半角スペースを入力します。

■本製品のパスワードを変更したい

本製品のパスワードは、次の手順で変更できます。

1 本製品の設定ページを開き、メニューから「管理者設定」をクリックします。



「管理者設定」をクリックします。

①新しく設定するユーザー名を入力します。

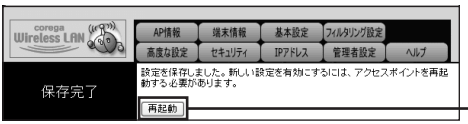
②新しく設定するパスワードを入力します。
※入力したパスワードは、画面上では「●」で表示されます。

③確認のため②で入力したパスワードを再入力します。

④「保存」ボタンをクリックします。

メモ パスワードには、15文字までの半角英数字、記号が使用できます。大文字/小文字が区別されますので注意してください。

2 「保存完了」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックします。



クリックします。

3 「本当によろしいですか？」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。
「設定を完了しました。3秒後にアクセスポイントを再起動します」と表示され、本製品が再起動します。再起動するまでしばらくお待ちください。

注意! 本製品の再起動中は、一時的に無線LANに接続できなくなります。

4 再起動が完了すると次の画面が表示されるので、新しく設定したユーザー名とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックします。

メモ　入力したパスワードは、画面上では「*」で表示されます。

本製品の設定ページが表示されます。

■最新のファームウェアを入手して更新したい

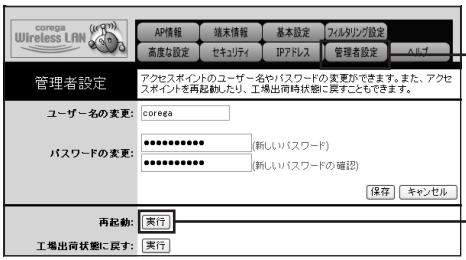
本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページ(http://www.corega.co.jp/)より入手可能です。

■本製品を再起動したい

次の手順で、本製品を再起動することができます。「ファームウェアの更新」「工場出荷時の状態に戻す」とは異なりますのでご注意ください。

1 本製品の設定ページを開き、メニューから「管理者設定」をクリックします。

2 「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。



3 「本当によろしいですか？」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

「設定を完了しました。３秒後にアクセスポイントを再起動します」と表示され、本製品が再起動します。再起動するまでしばらくお待ちください。

注意! 本製品の再起動中は、一時的に無線 LAN に接続できなくなります。

再起動が完了したら、Web ブラウザーの「更新」ボタンをクリックすると、本製品の設定ページが表示されます。

■本製品を工場出荷時の状態に戻したい

本製品を工場出荷時の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて消えてしまい、購入したときの設定に戻ります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるようにしておいてください。

工場出荷時の状態に戻すには、次の２つの方法があります。違いはありませんので、どちらを使ってもかまいません。

＜ Init スイッチを使う＞

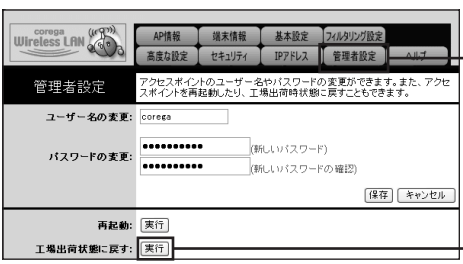
1 本製品の電源が入っている状態で、Initスイッチを3秒以上押し続けます。
Initスイッチはゼムクリップなど堅くて先の細いもので押してください。

2 Power LEDが再点灯し、システムが起動したら、Initスイッチを離します。

＜設定ユーティリティーを使う＞

1 本製品の設定ページを開き、メニューから「管理者設定」をクリックします。

2 「工場出荷状態に戻す」の「実行」ボタンをクリックします。



「管理者設定」をクリックします。

この「実行」ボタンをクリックします。

3 「本当によろしいですか？」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

「設定を完了しました。3秒後にアクセスポイントを再起動します」と表示され、本製品が再起動します。再起動するまでしばらくお待ちください。

注意! 本製品の再起動中は、一時的に無線 LAN に接続できなくなります。

再起動が完了したら、Webブラウザーの「更新」ボタンをクリックすると、本製品の設定ページが表示されます。

コレガのホームページの情報を活用する

コレガのホームページでは、お客様からのよくあるお問い合わせ情報やネットワークの一般知識を分かりやすく解説しているページを公開中です。困っていることを解決するヒントになります。

（2003年1月現在）

それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

次の２種類のサポートメニューを用意しています。

① 巻末の「お問い合わせ用紙」に記入して窓口に FAX
FAX を利用できて、お急ぎの場合はこの方法がお勧めです。「お問い合わせ用紙」をコピーして次の窓口に FAX してください。折り返し回答をさし上げます。
FAX 番号：045-476-6294（通信料はお客様の負担となります）

② コレガテクニカルサポート（ご購入後専用ダイアル）に問い合わせ
電話をかける前に、巻末の「お問い合わせ用紙」に記入して、トラブルの内容を整理してください。サポート担当者に整理した内容を伝えることがスムーズな解決への近道になります。
TEL 番号：045-476-6268（通信料はお客様の負担となります）

受付時間：10：00～12：00、13：00～18：00
（祝・祭日を除く月～金、ただし弊社指定休業日は除きます）

問い合わせ番号などが変更される場合があります。最新情報は、コレガのホームページ（http://www.corega.co.jp/）でご確認ください。

corega Net-News を購読する

「corega Net-News」は、コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりなニュースをお届けいたします。メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。メール配信サービスをご希望のお客様は、コレガのホームページでご登録ください。

PART4 設定ユーティリティーを見てみよう

本製品には、設定ユーティリティーが内蔵されています。設定ユーティリティーでセキュリティーなど、本製品の詳細な設定が行えます。

Web ブラウザーで設定しよう

■設定ページを開く

本製品の設定ユーティリティーは、Internet ExplorerなどのWebブラウザーから起動します。詳しくは、「PART2 アクセスポイントの設定をする」「設定ページを開く」（P.20）を参照してください。

●本製品の設定ページ

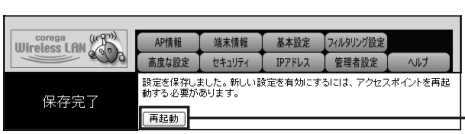
このメニューから設定したい項目を選択します。

選択した項目の設定画面が表示されます。

●設定のしかた

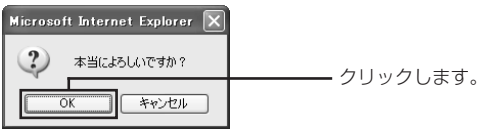
1 各設定画面で設定を変更したら、「保存」ボタンをクリックします。

2 「保存完了」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックします。



クリックします。

3 「本当によろしいですか？」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



「設定を完了しました。3秒後にアクセスポイントを再起動します」と表示され、本製品が再起動します。再起動するまでしばらくお待ちください。

注意! 本製品の再起動中は、一時的に無線 LAN に接続できなくなります。

再起動が完了したら、Web ブラウザーの「更新」ボタンをクリックすると、本製品の設定ページが表示されます。

注意!
- 設定ユーティリティーの各設定画面を切り替えるときは、十分な時間間隔をおいてクリックしてください。短い間隔で設定画面を切り替えようとすると、誤動作の原因となります。
- 設定画面が切り替わらないなど、設定途中で本製品にアクセスできなくなった場合は、背面の Init スイッチを押して、工場出荷時に戻して設定しなおしてください。詳しくは「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.32）を参照してください。
- 本製品の設定を変更したら、必ず、再起動を行ってください。再起動しないと、変更後の設定が有効になりません。

●設定ユーティリティーを終了する

本製品の設定終了後、Web ブラウザーを終了すると、設定ユーティリティーを終了できます。

Web ブラウザーでの設定項目について

Web ブラウザーでは、以下の設定ができます。

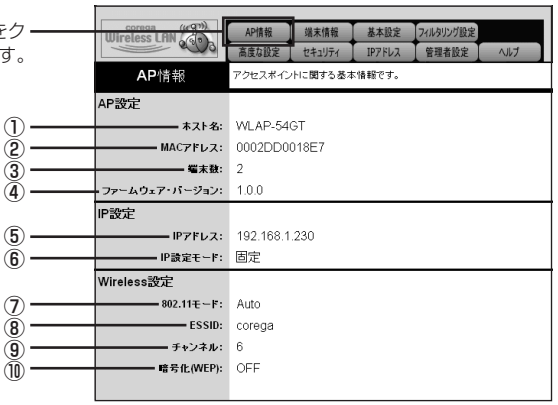
<メニュー名>	<おもな機能>
AP 情報	設定ユーティリティー起動時の画面です。本製品の現在の設定値を確認できます（P.38）。
端末情報	本製品に無線接続しているパソコン（無線LANアダプター）のMAC アドレスの一覧です（P.39）。
基本設定	本製品で無線 LAN に接続するための基本設定を行います（P.39）。
フィルタリング設定	本製品に無線接続するパソコンを無線LANアダプターのMACアドレスによって制限します（P.41）。
高度な設定	通信時のプリアンブルタイプや接続可能端末数など、本製品のより高度な設定を行います（P.42）。
セキュリティ	WEP の設定を行います（P.44）。
IP アドレス	本製品の IP アドレスやサブネットマスクなどの設定を行います（P.46）。
管理者設定	本製品のユーザー名やパスワードの変更ができます。また、本製品を再起動したり、工場出荷状態に戻すこともできます（P.48）。

メモ　以降の説明では、表の入力例を使用した場合の画面例を掲載しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。

■ AP情報

設定ユーティリティー起動時の画面です。ESSIDやIPアドレスなど、本製品の現在の設定値が確認できます。

1 メニューから「AP情報」をクリックします。

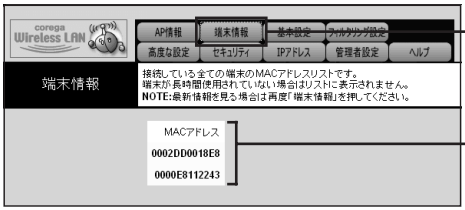


項目名		説明
AP設定	①ホスト名	本製品に設定した名前が表示されます。
	②MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
	③端末数	本製品に無線接続されているパソコンの台数が表示されます。定期的に更新されます。
	④ファームウェア・バージョン	本製品の現在のファームウェアのバージョンが表示されます。
IP設定	⑤IPアドレス	本製品に設定されているIPアドレスが表示されます。IPアドレスは「IPアドレス」画面で設定します(P.46)。
	⑥IP設定モード	本製品に設定されているIPアドレスが、DHCP自動取得か、固定設定かを表示します。IP設定モードの変更は、「IPアドレス」画面で行います(P.46)。
Wireless設定	⑦802.11モード	本製品に接続できる無線LANアダプターの規格が表示されます。「Auto」の場合は802.11bか802.11gかを自動判別するので、どちらの規格の無線LANアダプターでも接続できます。「802.11g」の場合は802.11gに対応した無線LANアダプターしか接続できません。802.11モードの変更は、「基本設定」画面で行います(P.39)。
	⑧ESSID	本製品に設定されているESSIDが表示されます。ESSIDは「基本設定」画面で設定します(P.39)。
	⑨チャンネル	本製品の現在のチャンネルが表示されます。チャンネルは「基本設定」画面で設定します(P.39)。
	⑩暗号化(WEP)	本製品の暗号化(WEP)が有効になっているかどうかが表示されます。WEPは「セキュリティ」画面で設定します(P.44)。

■端末情報

本製品に無線接続しているパソコン（無線LANアダプター）のMACアドレスの一覧です。

1 メニューから「端末情報」をクリックします。



「端末情報」をクリックします。

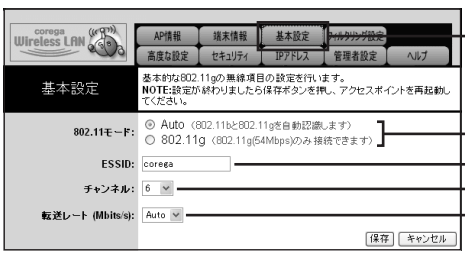
無線接続しているパソコンのMACアドレスが表示されます。

メモ ・長時間使用していないパソコン（無線LANアダプター）は、リストに表示されません。
・最新の情報を表示したいときは、再度「端末情報」をクリックしてください。

■基本設定

本製品で無線LANに接続するための基本設定を行います。

1 メニューから「基本設定」をクリックします。



「基本設定」をクリックします。

① ② ③ ④

2 「基本設定」画面が表示されたら、必要に応じて以下の設定を行います。

項目名	入力例	説明
①802.11モード	−	本製品に接続できる無線LANアダプターの規格を設定します。 Auto：802.11b（11Mbps）か802.11g（54Mbps）を自動判別します。どちらの規格の無線LANアダプターでも接続できます。 802.11g：802.11g（54Mbps）に対応した無線LANアダプターしか接続できませんが、パフォーマンスがよくなる場合があります。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。
②ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。接続するすべてのパソコン（無線LANアダプター）に同じ名前を設定してください。詳しくは、「PART2 アクセスポイントの設定をする」「基本的な設定をする（ESSIDの変更）」（P.21）を参照してください。 ※工場出荷時は「corega」に設定されています。
③チャンネル	6	本製品が使用するチャンネルを設定します。近くに他のアクセスポイントがある場合は、1～13の間で任意の値に変更してください。電波の届く範囲に他のアクセスポイントが存在する場合は、混信の恐れがあるので、5チャンネル以上離れたチャンネルを設定してください。 ※チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。 ※工場出荷時のチャンネルは「6」に設定されています。
④転送レート	Auto	パソコン（無線LANアダプター）と本製品が通信するときの本製品の転送速度です。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。通常は変更する必要はありません。

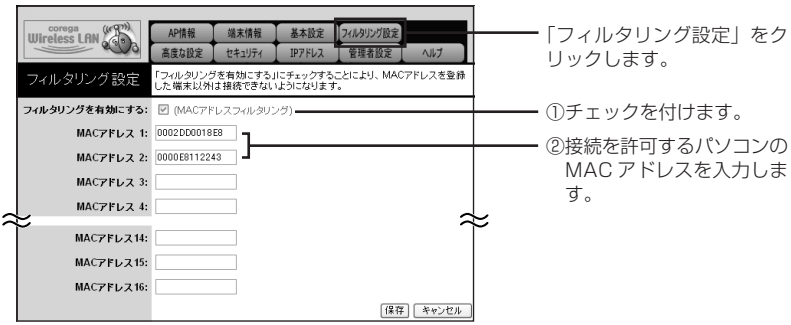
3 上記項目の設定後、「保存」ボタンをクリックします。

4 「保存完了」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックして本製品を再起動します。本製品の再起動後に設定が有効になります。

■フィルタリング設定

本製品に接続するパソコンを無線LANアダプターのMACアドレスによって制限します。

1 メニューから「フィルタリング設定」をクリックします。



2 「フィルタリング設定」画面で、以下の設定を行います。

項目名	入力例	説明
①フィルタリングを有効にする	−	チェックを付けると、登録したパソコン以外からの接続ができなくなります。
②MACアドレス	0002DD0018E8	本製品への接続を許可するパソコンの無線LANアダプターのMACアドレスを入力します。MACアドレスは、0〜9、A〜Fの半角文字で入力してください。ハイフンを入力する必要はありません。16台まで登録できます。

注意! 「フィルタリングを有効にする」にチェックを付けだけでは、本製品に接続するすべてのパソコンからの通信ができなくなります。必ず、接続を許可するパソコンの無線LANアダプターのMACアドレスを登録してください。

メモ 無線LANアダプターのMACアドレスは、無線LANアダプターのマニュアルや「PART3 トラブルや疑問があったら」「パソコンのネットワーク設定を調べたい」(P.28) を参照して確認してください。

3 MACアドレスの登録が完了したら、「保存」ボタンをクリックします。

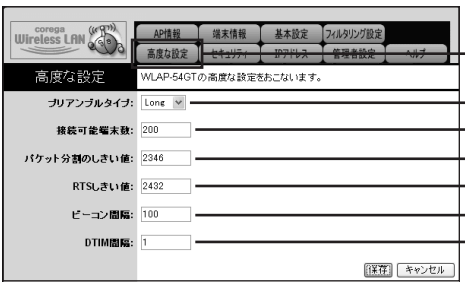
4 「保存完了」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックして本製品を再起動します。本製品の再起動後に設定が有効になります。

■高度な設定

通信時のプリアンブルタイプや接続可能端末数など、本製品のより高度な設定を行います。

注意! 各設定項目について十分に理解しており、かつ変更の必要がある場合にだけ、変更を行ってください。不用意に変更を行うと、通信ができなくなる場合があります。

1 メニューから「高度な設定」をクリックします。



「高度な設定」をクリックします。

①

②

③

④

⑤

⑥

2 「高度な設定」画面で、必要に応じて以下の設定を行います。

項目名	入力例	説明
①プリアンブルタイプ	−	通信時のプリアンブルタイプを設定します。プリアンブルとは、ネットワーク通信で送受信のタイミングを計るためのデータのことです。 Long：パケット毎に同じ量の情報を送るので、安定性があります。 Short：プリアンブルを短く処理するので、安定性は下がりますが、通信速度は上がります。 ※無線LANアダプター側がこの処理に対応している必要があります。 ※工場出荷時は「Long」に設定されています。
②接続可能端末数	200	本製品に接続可能なパソコンの最大数を設定します。 ※数が多くなると、通信速度が低下する可能性があります。8台程度をおすすめします。 ※工場出荷時は「200」に設定されています。

項目名	入力例	説明
③パケット分割のしきい値	2346	有線ＬＡＮから受信したパケットを無線LAN側に転送する際に分割するときのしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットが分割されます。 ※パケット長は、偶数で指定してください。 ※工場出荷時は「2346」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
④RTSしきい値	2432	有線ＬＡＮから受信したパケットを無線LAN側に転送する際にRTS（送信要求）パケットが送信されるしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットを送信する場合にRTS(送信要求)パケットが送られます。 ※工場出荷時は「2432」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑤ビーコン間隔	100	アクセスポイントが常に発信している、アクセスポイント情報の入ったショートパケット（ビーコン）の送信間隔を設定します。 ※工場出荷時は「100」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑥DTIM間隔	1	DTIM（配信トラフィック・インディケータ・メッセージ）値を設定します。 ※工場出荷時は「1」に設定されています。通常は変更する必要はありません。

3 上記項目の設定後、「保存」ボタンをクリックします。

4 「保存完了」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックして本製品を再起動します。本製品の再起動後に設定が有効になります。

■セキュリティ

WEPの設定を行います。また、ファームウェアの更新を許可するかどうかも設定できます。

注意! 無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないようにWEP設定を行うことをおすすめします。

● WEP を設定する

WEP キーは、通信内容（データ）を保護するための暗号です。WEP によって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。本製品は、「64 bit WEP」と「128 bit WEP」の両方式に対応しています。

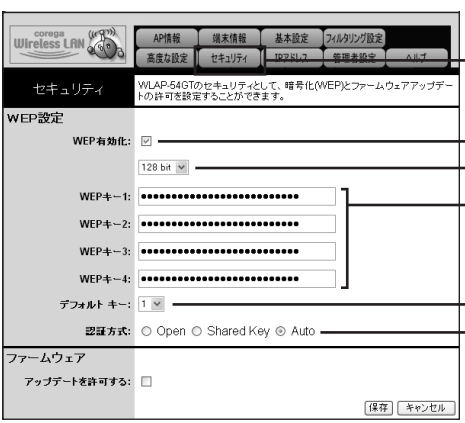
・64 bit WEP：16 進数で 10 桁の暗号キーを利用可能
・128 bit WEP： 16 進数で26 桁の暗号キーを利用可能

より長くて複雑な暗号キーを設定することができる「128 Bit WEP」を利用する方が安全性が高くなります。また、定期的に暗号キーを変更することで、より安全性が高まります。

注意! ・本製品の工場出荷時は、WEP は設定されていません。
・本製品にWEPを設定した場合、本製品に無線接続するすべてのパソコンの無線LANアダプターに、本製品に設定したのと同じ暗号キーを設定する必要があります。

1 メニューから「セキュリティ」をクリックします。

2 「セキュリティ」画面で、以下の設定を行います。



「セキュリティ」をクリックします。
①チェックを付けます。
②WEPの種類を選択します。
③WEPキー（暗号キー）を入力します。
※入力したWEPキー（暗号キー）は画面上では「●」で表示されます。
④実際に使用するキーを選択します。
⑤認証方式を選択します。

①「WEP有効化」にチェックを付けます。
②WEPの種類を選択します。「64bit」または「128bit」のどちらかを選択します。

③WEPキー欄にWEPキー(暗号キー)を入力します。

注意! ・WEPキーは、16進数（0～9、A～Fの半角文字）で入力してください。手順②で「64bit」を選択した場合は10桁の値、「128bit」を選択した場合は26桁の値を入力します。
・空白は「0」を入力したことになります。
・WEPキーは、本製品に無線接続するすべてのパソコン（無線LANアダプター）で同じ値を入力してください。異なったWEPキーでは通信できません。

④手順③で設定したWEPキーのうち、実際に使用するキーを選択します。
⑤暗号化の認証方式を選択します。通常は工場出荷時の「Auto」のままで問題ありません。

3 WEPの設定が終了したら、「保存」ボタンをクリックします。

4 「保存完了」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックして本製品を再起動します。
本製品の再起動後に設定が有効になります。

注意! 本製品にWEPを設定すると、設定に使用したパソコンを含めて、一時的に、無線接続しているすべてのパソコンからネットワークへの接続ができなくなります。ネットワークに接続するためには、無線接続しているすべてのパソコン（無線LAN アダプター）に同じWEPを設定してください。

5 本製品と接続するすべてのパソコン(無線LANアダプター)に、本製品に設定したのと同じWEPを設定します。

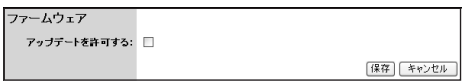
パソコン（無線LANアダプター）のWEPの設定方法については、無線LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

●ファームウェアのアップデートを禁止する

不用意にファームウェアを更新できないようにします。

1 メニューから「セキュリティ」をクリックします。

2 「セキュリティ」画面に、次のように表示されます。



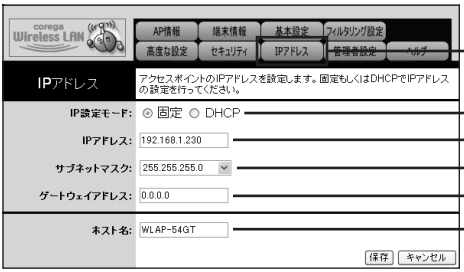
メモ 工場出荷時は「アップデートを許可する」にチェックが付いていません（ファームウェアの更新が禁止されています）。そのままご使用ください。

3 「キャンセル」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

■IPアドレス

本製品のIPアドレスやサブネットマスクなどの設定を行います。

1 メニューから「IPアドレス」をクリックします。



「IPアドレス」をクリックします。

2 「IPアドレス」画面が表示されたら、以下の設定を行います。

項目名	入力例	説明
①IP設定モード	−	本製品のIPアドレスの設定方法を選択します。 固定:　手動で固定IPアドレスを設定します。IPアドレス欄に直接IPアドレスを入力してください。 ※「固定」で設定した方が、設定や運用が簡単です。通常はこちらを選択してください。 DHCP:LAN内のDHCPサーバー(ルーターなど)から本製品のIPアドレスが自動で割り当てられます。 ※必ず毎回同じIPアドレスが本製品に割り当てられるようにDHCPサーバーを設定してください。DHCPサーバーの設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ※「DHCP」を選択した場合は、「AP情報」画面で本製品のIPアドレスを確認してください。 ※工場出荷時は「固定」に設定されています。
②IPアドレス	192.168.1.230	①で「固定」を選択した場合に、本製品のIPアドレスを入力します。 ※①で「DHCP」を選択した場合は、IPアドレス欄への入力は無効になります。 ※工場出荷時は、「192.168.1.230」に設定されています。

項目名	入力例	説明
③サブネットマスク	255.255.255.0	使用しているネットワークのサブネットマスクを選択してください。 ※工場出荷時は「255.255.255.0」に設定されています。
④ゲートウェイアドレス	0.0.0.0	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルーターのLAN側IPアドレスとなります。 ※同一LAN内のパソコンからだけ本製品を使用する場合は、変更する必要はありません。 ※工場出荷時は「0.0.0.0」(無効)に設定されています。
⑤ホスト名	WLAP−54GT	アクセスポイント名を入力します。 ※同一LAN上に本製品を複数台接続した場合には、それぞれを区別しやすくするために、別々のホスト名を付けることをお勧めします。 ※工場出荷時は「WLAP−54GT」に設定されています。

3 上記項目の設定後、「保存」ボタンをクリックします。

4 「保存完了」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックして本製品を再起動します。
本製品の再起動後に設定が有効になります。

■管理者設定

本製品のユーザー名やパスワードの変更ができます。また、本製品を再起動したり、工場出荷状態に戻すこともできます。
設定について詳しくは、「PART3 トラブルや疑問があったら」の「本製品のパスワードを変更したい」（P.30）、「本製品を再起動したい」（P.31）、「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.32）を参照してください。

製品仕様

製品名	WLAP-54GT
無線部	
サポート規格	IEEE802.11、IEEE802.11b、IEEE802.11g(draft)、ARIB STD-T66
アンテナ形式	ダイポールアンテナ
通信速度	IEEE802.11g:6/9/12/18/24/36/48/54Mbps(Auto select) IEEE802.11b:1/2/5.5/11Mbps(Auto select)
通信モード	Infrastructure
WEP	64bit／128bit
ローミング	IEEE802.11準拠
チャンネル数	1～13チャンネル
電源部	
入力電圧	AC100V(ACアダプターによる、外部電源型)
消費電力	3.6W(平均)
最大消費電流	送信時750mA／受信時700mA
環境条件	
保管時温度	-10℃～60℃
保管時湿度	90%以下(ただし結露なきこと)
動作時温度	0℃～40℃
動作時湿度	80%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法	30(W)×102(D)×136(H)mm(アンテナ、スタンドキット除く)
重量	本体 210g(ACアダプター、スタンドキット除く)
取得承認	
EMI規格	VCCI ClassB、技術基準適合認定

工場出荷時の設定

無線 LAN 機能の工場出荷時の設定です。

項目名	設定値
ホスト名	WLAP-54GT
パスワード	（なし）
IP設定モード	固定
IPアドレス	192.168.1.230
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
802.11モード	Auto
ESSID	corega
チャンネル	6
暗号化(WEP)	OFF
デフォルトキー	1
認証方式	Auto

MAC アドレスについて

本製品のMAC アドレスは本体底面に記入されています。MAC アドレスは、下記の6 バイト（48 ビット）によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。「PART1 まず準備が必要」「各部の名称と機能を覚えよう」「本体底面」（P.13）を参照してください。

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、「お問い合わせ用紙」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品（付属品一式を含む）を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

・ 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・ 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・ 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

・弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。普通郵便による送付は固くお断りいたします。
・修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

●製品送付先

〒 222- 0033 横浜市港北区新横浜 1- 19- 20
（株）コレガ corega サポートセンター宛
※製品のお持込みによるサポート・修理は受け付けておりません。

ユーザーサポートについて

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「お問い合わせ用紙」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。
送付先については、本書の「PART3 トラブルや疑問があったら」「それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる」（P.34）をご覧ください。

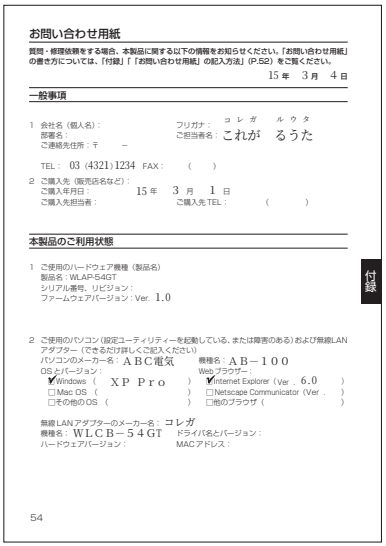
おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2003 株式会社コレガ
corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。
2003 年 2 月 Rev.A　初版

「お問い合わせ用紙」の記入方法

「お問い合わせ用紙」は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも、製品名をご記入の上、以下の点について情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。「どのように記入したらいいかわからない」「どこまで詳しく書いたら…」という方は、次のようなイメージで記入してください。



お問い合わせ用紙

質問・修理依頼をする場合、本製品に関する以下の情報をお知らせください。「お問い合わせ用紙」の書き方については、「付録」「「お問い合わせ用紙」の記入方法」(P.52) をご覧ください。

15年 3月 4日

一般事項

1 会社名（個人名）：
フリガナ：コレガ ルウタ
部署名：
ご担当者名：これが るうた
ご連絡先住所：〒 －
TEL： 03 (4321) 1234 FAX： （ ）

2 ご購入先（販売店名など）：
ご購入年月日： 15年 3月 1日
ご購入先担当者： ご購入先TEL： （ ）

本製品のご利用状態

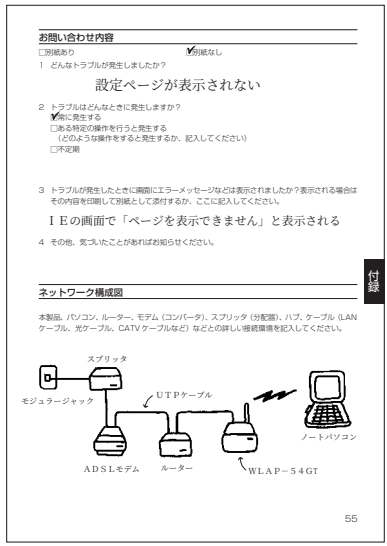
1 ご使用のハードウェア機種（製品名）
製品名：WLAP-54GT
シリアル番号、リビジョン：
ファームウェアバージョン：Ver. 1.0

2 ご使用のパソコン（設定ユーティリティーを起動している、または障害のある）および無線LANアダプター（できるだけ詳しくご記入ください）
パソコンのメーカー名：ABC電気 機種名：AB－100
OSとバージョン： Webブラウザー：
✔Windows（ XP Pro ） ✔Internet Explorer（Ver. 6.0 ）
□Mac OS（ ） □Netscape Communicator（Ver. ）
□その他のOS（ ） □他のブラウザ（ ）

無線LANアダプターのメーカー名：コレガ
機種名：WLCB－54GT ドライバ名とバージョン：
ハードウェアバージョン： MACアドレス：

54

付録



お問い合わせ内容

□別紙あり ✔別紙なし

1 どんなトラブルが発生しましたか？

設定ページが表示されない

2 トラブルはどんなときに発生しますか？
✔常に発生する
□ある特定の操作を行うと発生する
（どのような操作をすると発生するか、記入してください）
□不定期

3 トラブルが発生したときに画面にエラーメッセージなどは表示されましたか？表示される場合はその内容を印刷して別紙として添付するか、ここに記入してください。

ＩＥの画面で「ページを表示できません」と表示される

4 その他、気づいたことがあればお知らせください。

ネットワーク構成図

本製品、パソコン、ルーター、モデム（コンバータ）、スプリッタ（分配器）、ハブ、ケーブル（LANケーブル、光ケーブル、CATVケーブルなど）などとの詳しい接続環境を記入してください。

スプリッタ
モジュラージャック
UTPケーブル
ノートパソコン
ADSLモデム
ルーター
WLAP－54GT

55

付録

●「本製品のご利用状態」について

・ 本製品に貼られたラベルに記入されているシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）を「お問い合わせ用紙」に記入してください。

（例）

・ 本製品のファームウェアのバージョンを記入してください。ファームウェアのバージョンは設定ユーティリティーの「AP 情報」の画面で確認できます。
・ ご使用になっているパソコンのOS、Webブラウザーの種類/バージョン（Ver.）を記入してください。
・ 他社製の無線LANアダプターやユーティリティー、ドライバーなどをご利用の場合もすべてご記入ください。
・ 設定ユーティリティーへの入力情報もすべてご記入ください。
・ 接続しているパソコンやルーター、ハブなどの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

●「お問い合わせ内容」について

・どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）記入してください。
・エラーメッセージやエラーコードが表示される場合は、表示されるメッセージの内容を出力したものなどを添付またはご記入ください。
・障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

●「ネットワーク構成図」について

・ネットワークの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
・他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

お問い合わせ用紙

質問・修理依頼をする場合、本製品に関する以下の情報をお知らせください。「お問い合わせ用紙」の書き方については、「付録」「「お問い合わせ用紙」の記入方法」（P.52）をご覧ください。

年　　月　　日

一般事項

1　会社名（個人名）：　　フリガナ：
　部署名：　　ご担当者名：
　ご連絡先住所：〒　　－

　TEL：　　（　　）　　FAX：　　（　　）

2　ご購入先（販売店名など）：
　ご購入年月日：　　年　　月　　日
　ご購入先担当者：　　ご購入先 TEL：　　（　　）

本製品のご利用状態

1　ご使用のハードウェア機種（製品名）
　製品名：WLAP-54GT
　シリアル番号、リビジョン：
　ファームウェアバージョン：Ver.

2　ご使用のパソコン（設定ユーティリティーを起動している、または障害のある）および無線LANアダプター（できるだけ詳しくご記入ください）
　パソコンのメーカー名：　　機種名：
　OS とバージョン：　　Web ブラウザー：
　□Windows （　　）　□Internet Explorer（Ver .　　）
　□Mac OS （　　）　□Netscape Communicator（Ver .　　）
　□その他の OS （　　）　□他のブラウザ（　　）

　無線 LAN アダプターのメーカー名：
　機種名：　　ドライバ名とバージョン：
　ハードウェアバージョン：　　MAC アドレス：

お問い合わせ内容

□別紙あり　　□別紙なし

1　どんなトラブルが発生しましたか？

2　トラブルはどんなときに発生しますか？
　□常に発生する
　□ある特定の操作を行うと発生する
　（どのような操作をすると発生するか、記入してください）
　□不定期

3　トラブルが発生したときに画面にエラーメッセージなどは表示されましたか？表示される場合はその内容を印刷して別紙として添付するか、ここに記入してください。

4　その他、気づいたことがあればお知らせください。

ネットワーク構成図

本製品、パソコン、ルーター、モデム（コンバータ）、スプリッタ（分配器）、ハブ、ケーブル（LANケーブル、光ケーブル、CATV ケーブルなど）などとの詳しい接続環境を記入してください。